

陽だまり通信

陽だまりNPO法人化する

更に社会的責任深まる

ヘルパーステーション開設

サービスの柔軟化へ

本年六月十二日、かねてから申請中であった特定非営利活動法人(NPO法人)の認証を広島県より受け六月二十日、正式に「特定非営利活動法人陽だまり」が設立された。

この日より陽だまりは社会的に認められる団体になったと同時に、社会的に責任を果たさねばならない団体となった。そのことを強く自覚し、今後はこれまで以上に社会における役割を果たすべく努力していきたいものである。

本年八月一日より、陽だまりは介護保険法における訪問介護事業(ホームヘルプサービス)を開始した。陽だまりは二つのサービスを組み合わせることで、

陽だまりが従来の「有料在宅福祉サービス」と介護保険の「訪問介護事業」の双方を行うことで、利用する方には以下のような利点がある。

○依頼の内容によって、介護保険の対象となるサービスは介護保険の「訪問介護事業」で対象にならないサービスを使い分けることができ

市民福祉活動団体

NPO法人「陽だまり」事務局

東広島市西条朝日町十一十六

(0824) 221-4115



丁寧にわかりやすく
講師の藤山・平岡さん

○介護保険の「訪問介護サービス」提供後に、引き続きスタッフが「有料在宅福祉サービス」を行う場合は、交通費は無料となる。

○介護保険の「訪問介護サービス」提供中は、色違いの名札をつけることで、介護保険サービス(緑色の名札)と有料在宅福祉サービス(クリーム色の名札)を区別する。請求書・領収書も別々に発行する。

○介護保険の「訪問介護サービス」の内容に応じて二つのサービスを使い分けることができ

所へ問い合わせを。



本年度第一回

市民のための

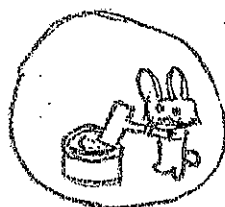
福祉講座開催

八月二十三日、第一回市民のための福祉講座が、東広島市民文化センターにて開かれた。多くの市民が参加し、積極的に講師の話を傾聴した。

講師には市福祉部高齢介護課の藤山文江氏・平岡直樹氏を招聘し、「介護保険をうまく使う」と題して、介護保険の仕組み、成立の経過ならびに利用の仕方について丁寧に、わかりやすく話していただいた。当日は三十数名の参加があり、改めて介護保険への関心の高さが伺えた。

近年東広島市でも高齢化が進み、介護を必要とする人の数が増加しているとの報告を受ける。介護保険ということばをよく耳にするが、介護保険とはなんであり、いざ利用するとしたら私たちが何をどうすればいいのであろうか。

まずは市や各出張所の窓口で介護サービスの必要を申請をする。そうすれば訪問調査員が自宅等を訪問し、心身の健康状況の調査をし、いくつかの質問があり、後は結果を待つ。即ち認定の是非を受けてサービスが利用できる。しかもその利用料は一部の負担でよい。認定されなくても、市独自の福祉サービス等、個々のニーズに見合った対応をしてくれる。



陽だまり抄

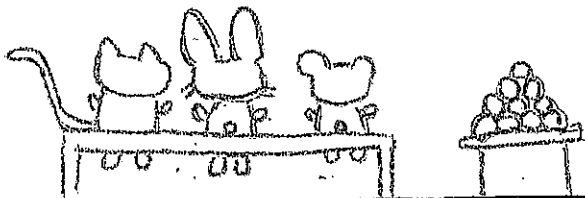
近頃子ども俳句が盛んである。その証拠に私は、この夏休み、子どもの俳句指導に専念した。それほどのブームである。

確かに子ども俳句は魅力的でさえある。こんな句があった。「秋祭り大人は大酒大暴れ」子どもの純粋な目でおとなの実態を鋭く捉えた秀句である。

これは小学校四年生の女の子の句である。赤とんぼ夕日の外へとんでいく。も面白い句である。

もみじ山たまにはけしゅうもしたくなる「子どもの発想はすばらしい。おとながどこかに置き忘れてきたような想いつきで、みごとに作り上げている。

陽だまりでも夏休み体験教室で俳句を取り上げた。くわしくは今回の記事の中にのせている。――吉



予防に心がけること、万が一病気がかかり、介護が必要となったとき、自分はどうしたらいいかを家族と話し合っておくことが大切だ。という講師のことばが印象に残った。(石井弥生記)



事務局だより

会員の動静—高校生入会—



八月三十一日正会員百三十八名 賛助会員二名。今回、会員最年少の十七歳女子高校生が入会し、夏期休業中に「夏休み子ども体験教室」や「陽だまりヘルパーの介護技術研修会」などを手伝ってくれた。若い感性と向上心に触れ、他の会員にとってもよい刺激となっている。

夏休み子ども体験教室

昨年度から始めた「夏休み子ども体験教室」を今年度は高屋東公民館で行なった。今回は東広島市教育委員から後援をいただき、NPO法人という事で会場も無料で借りることができた。また高屋東小学校の校長先生のご協力のもと、夏休み前にチラシ全児童に配布した。

「リサイクルひもでかぶくぶり」「子ども俳句をつくる」「おじゃみ(お手玉)をつくる」という全三回の講座を用意したが、どれも大好評で、参加した子ども達はもちろん、手伝ったスタッフもその充実ぶりに大満足であった。子ども達にとっては、少し難しい課題である方が達成感が得られるようであった。公民館の職員の方からも、「子どもがいい顔をして喜んで帰っている。またしてください。とお褒めのことばをいただいた。」

に出席するための遊休品、手芸品の提出方のご協力をお願いしたい。またお手伝いのためのスタッフを募集している。協力できる人は事務所まで連絡の程を。

会員の募集—仲間募集

陽だまりでは常時、活動できる会員を募集している。陽だまりの活動に興味のある方は事務所へお問い合わせの程を。



子ども体験教室講師

リサイクルひも...
講師 荒滝弘子さん
子ども俳句...
講師 廣瀬吉夫さん
おじゃみ...
講師 廣瀬長子さん

「夏休み子ども体験教室」を開いたよ

例年になく冷夏、ことしは「健康福祉まつり」のバザーのお手伝い・遊休品の提供のお願い...
来る十一月一日、今年も「生涯学習フェスティバル」と共催で「健康福祉まつり」が東広島運動公園にて開催される。陽だまりは、十一月一日(土)にバザーで参加する予定である。ついでには、バザー

シリーズ 子育てバンザイ

二回目 青山純子

子育てをしている中で、ビデオに残してなくて残念だと思ふ出来事があります。下の子がたそがれ泣きを始めた頃、なぜか三歳達の上の子も、下の子と一緒に泣き始めるのです。夕方五時頃から三十分、時間を計ったように。どうあやしても、泣きやまないのです。最初の二、三日は私も涙が...

ら五七五にチャレンジしている光景である。いずれの会場も多くの子どもたちが一点集中している光景である。次回を楽しみにしている。

分らず一緒に泣いていた下の子。あつけないと思ふ。が、三日続く。これはとても危険なこと。人を片膝ずつに座らせ抱っこしてその時間を過ごしました。ように、どんどん脳裏に積...

編集後記

秋暑き汽車に必死の子守歌 汀 女
立秋が過ぎたとはいえ、日中の暑さはことのほか身にこたえる今日この頃、みなさまにおかれてはいかがが経過でしょうか。陽だまり通信第十一号をお届けします。NPO法人陽だまりは、皆様方が本当に必要としているニーズは何かと、常に考えながら一歩一歩努力していく所存です。どうか皆さま方の忌憚のないご意見ご支援をよろしくお願いいたします。(長子)

子ども俳句



夏の日プールに入ってたのしいな 小一 ナディア
つばめの子きょうだいたちとたべまくり 小四 まい
竹のこは大きくなるぞどこまでも 小二 なお
夏休み海に出かけてひやけした 小四 大地
自転車のタイヤもとける夏休み 小三 なぎさ
トマトさん汗をかきほどもつかだね 小四 瑞希
つばめの子親をまっついで鳴いている 小六 健斗
夕焼けはぼくらを見てね見守って 小三 来留美
母の日で母にあげるプレゼント

